

# 平成 21 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指 導	題名	促成アスパラガス高収量確保のための根株養成法		
[要約] 促成アスパラガスの収量は根株重と相関が高いことから、大株生産のための根株養成法として「40cm程度の深耕」「かまぼこ形の大畦」「ポリポットによる鉢上げ」「フラワーネット等による茎葉倒伏防止対策」が有効である。					
キーワード	アスパラガス	促成伏せ込み	大株生産	県北農業研究所	園芸研究室

## 1 背景とねらい

促成アスパラガスの伏せ込み栽培は、本県の早期秋冷気象を活用し早出しできることや、冬期間の収入確保品目として拡大されてきた。しかし、生産者間の単収格差が 10 a 当たり 70～370kg と大きいことが課題となっている。

そこで、単収に大きく影響を与える根株の養成法を明らかにし、収量の高位平準化を図る。

## 2 成果の内容

促成アスパラガスの若茎収量は根株重と高い相関がある（図 1）ことから、大株を生産するため、下記の技術を取り入れた根株養成法とする。

- (1) アスパラガスの植栽ほ場は、深耕ロータリー（約 40cm 深）で耕起し、作土を膨軟にすることにより根が伸長しやすいほ場とする（図 3）。
- (2) 作畦形状は、耕起した作土をできるだけ多く集めた大畦とし、根の伸長容積を確保する（図 2、4）。
- (3) 大苗を育成するため、ポリポットに鉢上げ育苗する（表 1）。
- (4) 茎葉の倒伏防止は斑点病予防効果が高く、茎葉が生育旺盛になるのでフラワーネットやマイカ線を設置する（図 5、表 1）。

## 3 成果活用上の留意事項

- (1) その他の管理及び伏せ込み技術は野菜栽培技術指針によるが、特に斑点病による収量低下が大きいので、8月下旬～掘り上げ前まで重点的に防除に努める。
- (2) 試験期間において、平成 19 年は 7～8 月が少雨傾向、平成 18、20 年は通常年である。
- (3) 大株生産に向けた上記技術を組み合わせた総合体系は今後検討する。

## 4 成果の活用方法等

### (1) 適用地帯又は対象者等

促成アスパラガス産地を担当する農業普及員及び営農指導員

### (2) 期待する活用効果

促成アスパラガスの 10 a 当たり若茎収量の高位平準化につながる。

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H17-40) 早期秋冷気象を活かしたアスパラガス促成栽培技術の確立 [H17～19/独法委託]

外部資金課題名：寒冷地・積雪下における冬春期野菜の安定生産技術の開発（高度化事業）

(H20-09) 高収益野菜品目を組み入れたレタス短期輪作体系の確立（平成 20 年、県単）

## 6 研究担当者 佐藤正昭

## 7 参考資料・文献

- (1) アスパラガス年内どり作型における 1 年養成株の掘り取り時期（平成 18 年度研究成果）
- (2) 武田ら (2009) アスパラガス促成栽培における株養成時の畝の大きさが株重、若茎生産に及ぼす影響、園芸学研究第 8 巻別冊 2、252

## 8 試験成績の概要（具体的データ）

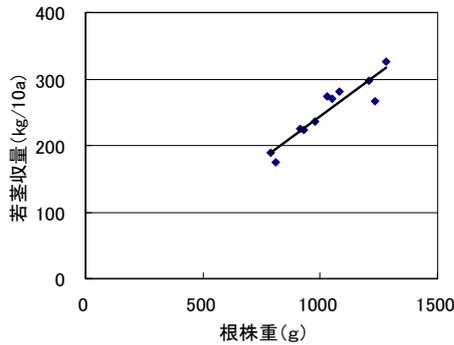


図1 根株重と若茎収量の相関(H18)

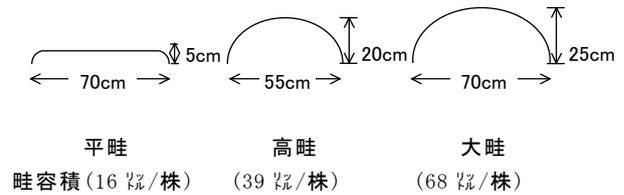


図2 作畦の形状

大畦：タバコ畦立てマルチアタッチメントを最大に拡張して作畦、135cm巾ビニルマルチ使用

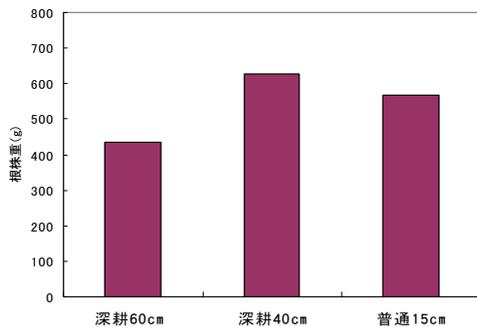


図3 耕起深と根株重(H19)

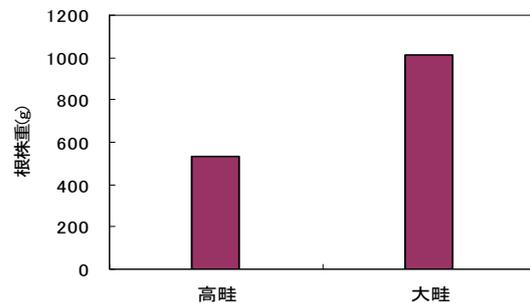


図4 作畦の形状と根株重(H20)

「実施方法」 深耕 60cm: トレンチャー 深耕 40cm: 深耕ロータリ  
普通 15cm: 普通ロータリ

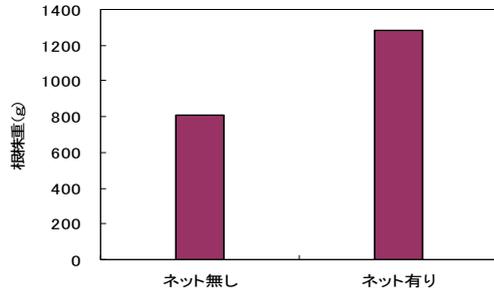


図5 倒伏防止による株の肥大(H18)

ネット：フラワーネット 20cm×3 目

表2 茎葉倒伏防止と斑点病(H19)

	斑点病指数
マイカ線あり	0.50
マイカ線なし	0.98

発病指数 「0」: なし 「1」: 茎数の 1/3 程度  
「2」: 1/2 程度 「3」: 2/3 以上

表1 播種時期・鉢上げ有無と苗質及び根株への影響(H19)

区	苗茎数 (本)	苗重(生) (g)	根株重 (g/株)
2/1播種	3.0	4.6	531
2/1播種・鉢上げ	5.2	11.6	791
3/3播種	3.6	3.2	455
3/3播種・鉢上げ	4.6	3.8	659

鉢上げ日: 3月25日、7.5cmポリポット 定植日: 5月9日

鉢上げ資材費: ポリポット、培土 12,780 円  
鉢上げ、管理労賃: 8,596 円、光熱費 18,656 円  
増額分計 40,032 円/10a

### 「耕種概要」

品種：ウエルカム

播種方法：2月上旬～中旬、55穴セルトレイ1粒播き、園芸培土 N220、鉢上げ無し（標準）

畦立て：トラクタ・タバコ畦立て用マルチ機

施肥量：CDU555 化成3要素各 30kg/10a 追肥無し パーク堆肥 3t/10a

定植時期：5月9日前後 栽植密度：株間 45、畦間 140cm 1条植え 1587本/10a

業害虫防除：シユウニホシケビナガハムシ 6月1回 斑点病 8月中旬～10日間隔で防除

掘り上げ：11月中～下旬（低温遭遇時間 230～290時間） 伏せ込み：根洗い根株重計測、糖度調査後 20℃カーモ設定の伏せ込み床へ 岩手県出荷基準の 26cm、4g 以上を若茎収量にカウント